定期テストで満点ねらえ！
<u>３ステップ国語勉強法</u>

「国語がどうしても苦手で…」
「国語はどう勉強すればいいかわからない…」
でも安心してほしい。
国語の定期テストの勉強法がある！
高得点の取り方があるのだ！

【国語のテストの出題内容】

１．　漢字

定期テストでも高校入試でも、漢字の配点は読み書き合わせて 20 点～30 点あり大きなウエイトを占める。

２．　文法

基本的に 10 点前後の配点。出題内容は主に次の３種類。

・品詞
・用言の活用形・活用の種類
・敬語

３．　読解問題

残りの 60～70 点分が読解問題。テスト範囲によっては古文になる。
「国語が苦手で…、、」と言う生徒がイメージしている国語はこの読解問題なのだ。
読解問題は「選択問題」「書き抜き問題」「記述問題」があって、次の種類。

・接続詞を答える
・指示語（「これ」「それ」など）を答える
・「～はなぜか？」と理由を問う
・筆者の主張を問う

前回のテスト答案を引っ張りだして、まずは自分がどこができていないのかを確認しよう。
何が足りないのかを知ることは大事（自己認識）だ。

<u>【ステップ 1】漢字の攻略法</u>

まずは漢字の勉強だ。配点が大きいし、一番手っ取り早く点数を上げられるからだ。
漢字は出題範囲が分かっている！
<u>漢字は簡単に満点が取れる！</u>　なぜなら、**テスト範囲の「漢字ワーク」「教科書」からそのまま出るからだ。**
ここで満点を取らないのは**<u>大損害</u>**！
前回のテストで半分くらいしか取れていない人は、漢字だけで 10 点は上がるのだ。
漢字は必ず全部覚えてからテストに臨め。

漢字を覚えるにはコツがある。
漢字・英単語・理科・社会などの暗記ものでとにかく大事なことは「何度もくり返す」こと。
また、「一気に 15 回練習」よりも「3 回練習を時間をあけて 5 回」の方が効果的だ。
人の脳は、接触回数が多いものを「重要なこと」と認識し、記憶に定着するから。

○漢字の覚え方の具体的な手順

1. **まずは「読み」を覚える**
2. **そして「意味」も理解する**
3. **見ないで３回書き（３回連続正しく書けるまで）**
4. **翌日、覚えたかのテストをする。**
5. **覚えていなかったら３回書き**
6. **本番前までテストを５回繰り返す**

【ステップ 2】読解問題の攻略法

国語テストで最も配点が大きいのがこの読解問題。また、国語が苦手な人の多くが悩んでいるのもこの読解問題。しかし、定期テスト〝だけ〟なら読解力はほぼ必要ない。
　なぜなら、**定期テストの読解問題は、授業でやった教科書の本文で、出題される文章も、出題される設問箇所もすべてネタバレされているからだ**。学校の授業で本文は全て解説される。
その**”解説された部分”が設問になるのだ！**
　そして、その解説はすべてノート（プリント）に書いてあるわけだ。

○授業のノート（プリント）を暗記せよ！

ノートを理解して覚えるだけでかなり点数がアップするはずだ。
どこを勉強すればいいのかが明確だし、覚えておくこともそれほど多くないから、確実に暗記しよう。
具体例をあげると、学校の授業では次のような解説をしてくれているはずだ。

- 「ここは**筆者の主張**です」
- 「ここが**筆者の主張の「理由」**です」

そして定期テストでは、次のようにされる。

- 「問．筆者の主張を次の中から選びなさい」
- 「問．～～～（筆者の主張）とあるが、筆者はなぜこのように考えているのか答えなさい」

物語文も同じ。

- 「問．ここでの（登場人物）の心情を次の中から選びなさい」
- 「問．ここでの（登場人物）の心情が読み取れる一文を書き抜きなさい」

古文の場合は、**「現代仮名遣い」「単語の意味」「主語は誰か」の 3 つ。**
古文は主語が省略されている。だから、現代に生きる僕らは古文がチンプンカンプンだったりする。
でも授業で、

- **「ここはこの主語が省略されています」**
- 「この単語は～という意味です」

と解説してくれるし、現代語訳もしてくれる。

そしてテストで

- 「問．傍線部の主語は誰か答えなさい」
- 「問．傍線部の意味を答えなさい」

と出題されるが、授業で解説された部分だけを覚えればいいので、国語は「理科・社会」と同じ暗記科目なのだ。

○学校ワークを暗記せよ！

学校ワークの答えもノートと同じように**暗記すれば完璧**だ！

　※ここまで解説した読解問題の勉強法はあくまで「定期テスト用」だ。
実際の模試や入試では、前もって出題される文章は分からないので、以上の勉強方法では解けない。
模試や入試での読解問題の勉強法、コツは別の機会でちゃんと説明するのでご心配なく(^^)

【ステップ3】文法問題の攻略法

最後に文法。なぜ最後かというと、文法は配点が低いし、覚える量もそれほど多くないから。
でも、テスト前３日くらい、１日１周、合計３周くらいやれば充分覚えられる。

○文法のワーク・プリントをマスターする

文法は学校ワークの文法編や、配布プリントをとことんやるのだ。
ワークやプリントからそのまま、あるいは言葉が少し変わっただけの問題が出題される。

もし文法が分からない場合は、知らせてほしい。
横浜校とっしーが緊急授業をするよう総長から司令がくるはずだ。

*「国語の勉強方法がわからない」*という人は、ぜひ、このプリントのやり方で勉強を進めてみよう！
実は国語は、だれでも勉強しやすく、簡単に点数を上げられる教科なのだ。
次回のテストできっと点数アップ間違いなし！！
では健闘を祈るｍ(__)ｍ！！